

科目名	形態・語彙・意味Ⅱ(意味)
授業の目標・ねらい	意味の体系を構成する基本的な概念を理解するとともに、実際に意味の伝達がどのようにおこなわれているかにも目を向けます。日本語の実例を多く扱うことで、意味の問題に敏感になり、教育現場での問題に活用できればと考えています。
授業内容・授業方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 意味の種類、意味関係など、語の意味のありかたに関する基礎概念を確認します。</li> <li>2. 意味に関する事例研究を通じ、意味に対する敏感さを鍛えます。類義語の比較検討、他の言語との意味のずれ、曖昧文の検討などを通じ、分析力を養います。個人またはペアやグループなどで問題に取り組む時間を設ける予定です。</li> </ol>
予習・復習	
使用テキスト	
参考書等	
講師名	小井亜津子
所属	
研究分野	日本語教育日本語学
講師紹介	主に日本語教育のための文法を研究しています。最近では国際化の観点からの日本語論についても関心を強めています。中国での日本語教育経験があります。